

令和2年度「大川の匠」認定

仁田原 進一

仁田原建具製作所
大川市向島

プロフィール

1962年生まれ。高校卒業後、父のもとへ弟子入り。受け継いだ伝統技法を磨くために35歳の時に島県出雲市に勉強に行く。二人の息子と共に大川建具・大川組子の魅力を国内外に広く発信し、新しい技術やデザインを、積極的に取り入れるなど、バイタリティーにあふれている。



大川の匠からひとこと
何事も手を抜かず真面目に取り組むこと、そして健康であることが、とても大事です。

すごいところ(得意分野)

組子細工は釘を1本も使わずに強度を保つ必要があり、大変である中、接合部分は独自技術の複雑なホゾ構造を多用して、強度が増すように接合する。作品への想いは強く、職人技の手作業と高精度の機械を駆使し、わずかなゆがみも妥協しない。全国で数人しか作ることでできない組子の模様を作る技術も保持している。



大川の匠



仁田原
建具製作所